## GaPの MBE 成長における Ga 吸着子の表面拡散長の定量化

Quantification of Ga Adatom Surface Diffusion Length in GaP Growth by MBE

豊橋技科大, Toyohashi Tech.

 $^{\circ}$ (M2)塩田 幸輝,山根 啓輔,J.A. Piedra-Lorenzana,関口 寛人,岡田 浩,若原 昭浩

°K. Shiota, K. Yamane, J. A. Piedra-Lorenzana, H. Sekiguchi, H. Okada, A. Wakahara

E-mail: shiota-k@int.ee.tut.ac.jp

GaP 系 III-V-N 混晶は、N 組成制御により Si と格子整 合し、広範囲のバンドエンジニアリングが可能である。 この事から、Si 基板上の多接合型太陽電池や発光デバ イスの材料として期待されている<sup>1)</sup>。しかしながら、 GaP/Si ヘテロエピタキシーでは積層欠陥やアンチ・フ ェーズ・ドメインの発生が大きな問題になっている。 これらの欠陥を抑制するためには、成長原子の振る舞 いを正しく理解する必要がある。本研究では、成長メ カニズムに関する知見を得るために、分子線エピタキ シー(MBE)法により成長した GaP 層における Ga吸着子 の表面拡散長を定量化する。

吸着子の表面拡散長の評価手法には、Fig. 1 に示すよ うな隣接した異なる面間の原子の拡散現象を利用した。 拡散理論を用いた 1 次元成長モデル(式 1)を適用する ことにより、テラス上での膜厚分布 T(X)から表面拡散 長 $\lambda$ を見積った<sup>2)</sup>。

$$T(X) = T_{direct} \pm T_{diff} e^{-\frac{\pi}{\lambda i}} \qquad (\not \exists 1)$$

ここで、 $T_{direct}$ および  $T_{diff}$ はそれぞれ、分子線に起因す る成長膜厚および面間拡散に起因する成長膜厚である。 フォトリソグラフィーとウエットエッチングによって、 (001)テラス面および(111)側壁面を有するストライプ加 工 GaP(001)基板を作製した。テラス幅(溝幅)および溝 深さはそれぞれ、4-8µm および 1 µm とし、ストライプ の方向は、<110>および<1-10>方向の 2 種類を用意した。 その上に AIP マーカー層を介して、成長温度 500、550、 600 °C で膜厚 100 nm の GaP 成長層を成膜し、面間拡散 によりテラス上で生じた膜厚分布を透過型電子顕微鏡 (TEM)観察により見積もった。

Fig. 2 に成長層の膜厚分布の例(成長温度 600 ℃)およ び成長層の断面 TEM 像を示す。図より面の境界(X=0) からテラスの中央に向かって、成長層の膜厚が減少し ている。この事から、結晶成長中の面の境界近傍にお ける Ga 吸着子の流れは、斜面側からテラスの方向であ ることが分かる。Fig. 3 に成長温度を変化させた場合の <110>と<1-10>方向におけるテラス上での表面拡散長 のアレニウスプロットを示す。成長温度 600 ℃ では、 <1-10>方向が<110>方向より表面拡散長が長く、その関 係は低温で逆転する傾向を示した。挿入図には成長温 度 600 ℃ で成長した GaP 層の AFM 像を示している。 <1-10>方向が長い楕円の形状をした自己形成島が観察 されるが、これは表面拡散長の異方性を反映している と考えられる。

[謝辞]

本研究は、(公財)村田学術振興財団、(公財)中部電気利用基礎 研究振興財団の援助を得て行われた。 [参考文献]

1) K. Yamane et al., Japan Crystal Growth 486 (2018) 24-29.

2) T. Nishinaga et al., Thin Solid Films 343-341 (1999) 495-499.



Fig. 1 Schematic model of adatom surface diffusion.



Fig. 2 Thickness distribution of grown layer (Growth temperature  $600^{\circ}$ C) along <110>. Inset shows TEM image of the sample.



Fig. 3 Diffusion length of Ga adatoms on (001) surface in the <110> and <1-10> directions of as a function of growth temperature. Inset shows  $1\times1 \ \mu\text{m}^2$  AFM image of the sample (Growth temperature 600°C).